

常任委員会 委員長報告

補正予算
関係抜粋

令和2年度補正予算関係議案などを審査するため、3つの常任委員会に付託され、以下の質問がありました。

総務委員会 委員長 小沼秀朗

避難所での防災設備について

Q 折りたたみ式ベッド及び飛沫感染予防のパーティションの保管について、市内に効率良く配置されているのか伺う。

A 小中学校の空き教室利用について、教育委員会と調整中です。各広域避難所に設置されている防災倉庫への配置を検討しています。

松ヶ岡整備工事費について

Q 債務負担行為の補正となる松ヶ岡整備工事費は、工事の発注方法が一括から分割に変更されたが、総事業費が予定の4億円を上回る心配はないか。

A 現在のところ、4億円で収まる計画で進めています。

職員のテレワークについて

Q コロナ禍における職員のテレワークの利用者数等について伺う。

A テレワークの利用状況について、12月末現在で延べ188人、令和元年度の同時期では64人で約3倍と利用が増えています。安全管理や情報流出は心配ない状況です。

環境産業委員会 委員長 山本裕三

移住・就業支援金事業について

Q 令和3年度の国の動向を踏まえた移住者等の見込みを伺う。

A 国の動向では、支援対象者を拡大するとしていますが、制度的に条件が厳しく、すぐに移住者が増えると見込むのは難しいです。制度の詳細や当市の実情を踏まえて、今後も検討していきます。

バス交通対策事業費について

Q 県補助金の交付基準に満たないと懸念されていたが状況はいかがか。

A 県の基準に変更はありませんが、一部の路線で、企業研修に向かう外国人労働者の利用があったため、県の基準が満たされました。

ポストコロナ対応経済活動助成金について

Q ポストコロナ対応経済活動助成金を活用し、コロナ対策を万全におこなっている飲食店や事業者の発信ができないか。

A 関係団体と連携し、PRをしていきます。

文教厚生委員会 委員長 窪野愛子

待機児童について

Q 保育園や認定こども園などの待機児童数について伺う。

A 令和3年2月1日現在の待機児童は、国定義が82人、全体の入所保留者が363人です。

学校教育情報化推進事業について

Q 学校教育情報化推進事業費を減額した理由について伺う。

A GIGA スクール構想が推進され、端末自体が安価となったこと、参入業者の増加により、安く購入できる環境が整ったことなどが理由です。

ワクチン接種について

Q ワクチンの接種費用は全額、国から補助されるのか。

A 基本的には国の予算で全額補助されることになっていますが、該当にならない部分が出る可能性もあるので、医師会や医療従事者などと協議しながら計画を立てていく予定です。